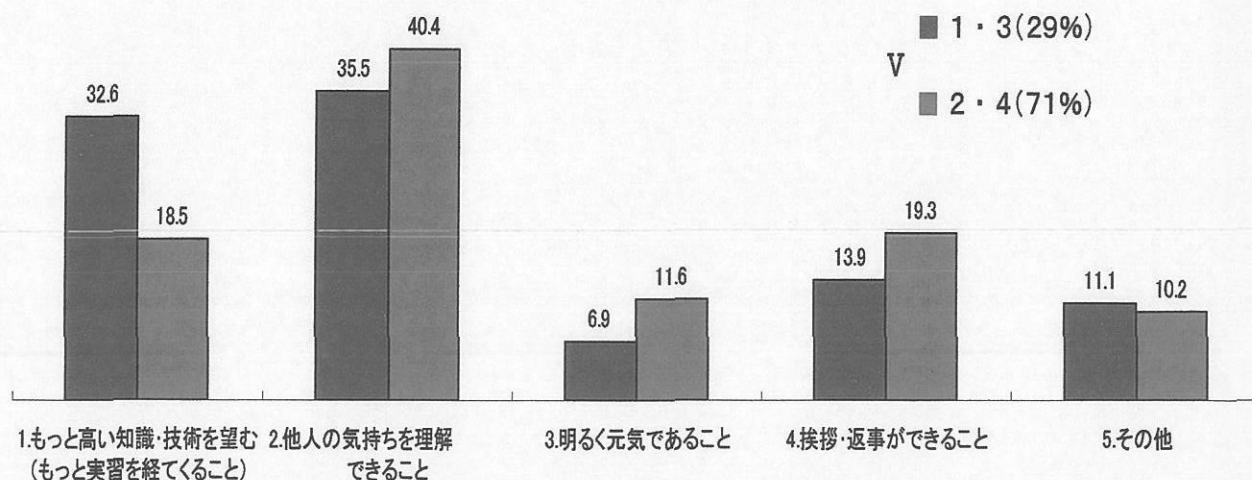


#### IV 高等学校福祉科に一番望むことは何ですか？



IV「高校福祉科に一番望むことは何ですか？」では、

「もっと高い知識・技術を望む (もっと実習を経てくること) が、他の評価をしている施設に比べ14.1ポイント高くなっている。

これが、高卒資格者が専門卒以上との差が「ある」「ないとも言えない」との回答要因になっているものとする。

このことは、極く当然のことであると言える。

即ち専門卒、又は無資格であるが施設で働き、実務を経験している職員に比較すれば、実務的知識、技術が低いのはごく自然のことであり、これによって高卒資格取得者のレベルを云々にはできないことである。

このことであるならば、経験すれば直ちにカバーできることであり、さらには全く汚されていない素直な気持ちで施設に勤めているのであるからアンケート項目Ⅰ、Ⅱで示されている「素直さ」「指示された通りに業務を遂行する」ことにより、より施設方針、入所者の要望、期待に応えられる介護福祉士になるものとする。

将来、さらにより良い介護福祉士になる可能性を秘めているものと解釈できるものである。

高等学校教育における基礎的学習、可能性を拡大するための学習、人間としての基本的マナーの学習等、社会に期待される介護福祉士、施設・入所者の期待に応えられる介護福祉士の養成に今以上心血を注ぐ決意と意欲が湧いて来るものである。